

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

2015

6

2015年5月25日発行
通巻198号

伝
え
る



情報—地域を知ることは、自分たちの未来をつくること



編集局から、読者のみなさんへ

こんにちは。みえ市民活動・ボランティアニュースの担当理事をしています、特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンターの服部です。三重県が設置している県民交流センターの指定管理者として、これまで重ねてきた議論をふまえて、昨年度からみえ市民活動・ボランティアニュースのリニューアルをしました。

地域の課題？

どのようにしたかという、まず、『「地域の課題」を知ろう。そして、その解決をめざす団体を紹介しよう。』という方針を立てました。「ボランティアをはじめとする、市民の自由な社会貢献活動」が、実際にどのように「地域の課題」を解決していこうとしているか。それをテーマにそって並べることで、多くの人たちに知ってもらい、自分たちのまちの課題解決に役立ててもらえればという気持ちでした。

そこで、地域の課題について担当者がトップ記事を書き、今の状態を伝える。次のパートで、みえNPOネットワークセンターのメンバーである県内各地の中間支援NPOが、それぞれの地域でテーマの課題解決に取り組む市民の活動を紹介するスタイルになりました。

去年の8月からこれまでに、『在住外国人の受け入れ』『障がい者の雇用』『ごみを生む生活』『働き方—過労死』『地方の豊かさ』『子どもの貧困』『食のスタイル』『ひとり親世帯』『認知症』といった課題をとりあげてきました。

記事を書くのは、若いセンターのスタッフたち。直感的な課題出しはできても、では実際にどうなっているかということ、実はあまりよく知らないこともありました。そこで、多くの場合、県庁の担当課を訪問して取材し、公的なデータや行政施策の内容、スタンスを聴かせてもらいます。そして、実際にその課題に取り組むNPOの人たちのお話を聴き、場合によってはそのことをよく知る大学の先生など

「識者」といわれる人たちにも取材しました。そのような取材の中から記者自身が感じたことを文字にしたのが、一連の記事です。決して十分な考察ができていたとは言いきれませんが、それなりの課題紹介はできてきたと思っています。

その取材の中で、ほんとうにたくさんのさまざまな立場の人たちが、「地域の課題」を解決しようと、いろいろな取り組みをしておられることを発見できました。「地域は、まちは、これらの人たちのがんばりによっても支えられている」、こう感じた瞬間でした。



とんでもないことになりそう

いろいろな「地域の課題」を取材していくことで、自分たちのくらしを取り巻く状況や環境も見えてき

ました。自分が暮らしているまち、地域でも、テーマで取り上げた課題がある。これをあらためて実感もしました。これは、知らないでいるととんでもないことになりそうだ。だから、「地域を知る」ということは、自分たちの未来をつくることでもあるんだとも。

実は、「知る」という作業は、時間と気持ちとお財布に余裕がないと、なかなか積極的にはできません。忙しく目の前のことに対応することでめいっぱい。あるいは、面倒だし、もういいやあ、ともなりかねません。

その課題に自分が直面したとき、行政や企業、非営利団体のサービス情報などは、集中して探すとなんとか行きあたることもあります。けれどもそれらは、追い詰められて余裕のない中で、とりあえずの目の前の対応になりがちです。社会の中の大きなうごきはどうなっているか、そして、自分のまちではそのうごきにどこまで、どう対処できているか。そういう目で見ないと、場合によっては、世の中の都合にただながされてしまうこともあるかもしれません。

一方で、世の中の大きな動きや、それに対応する地域の動きを知り、「それらに自分ならどう関わるかを想像する」と、まったく違う世界が見えてきます。自分から積極的に関わる姿を想像するのは、なかなか面白いことでもあります。たぶん、「関心がある・興味がある」というのは、こういう感じで見ているのかもしれない。

自分スタイル

さて、ではどうやって、世の中の大きな流れや、さまざまな地域の課題を知り、地域を知ることができるかという、なかなか「これ」という方法はありません。それぞれにその人なりのスタイルがあるのだと思います。

たとえば、地域の情報誌などのフリーペーパーは、印刷や配布の費用がかかるため、いきおいビジネス的な商業情報が多くなります。コミュニティFMなどは多くが行政財源に頼っているため、どこまで突っ込んで語られているかわかりません。コストのあまりかからないインターネットの情報は、情報の精度や視点もさまざまです。ブログやツイッター、フェイスブックなどを使って、自分で発信してみると、情報を選択し、判断



県内の市民活動センターが出している情報誌

する「自分の眼」ができ、自分の生活が世の中とどう関わっているかが見えてくるかもしれません。自分の暮らしに引き寄せて、ものごとを判断し、実際に起きている変化を考えることも、「知る」ことの面白さのひとつです。

地域の人たちのすごさ

みえ市民活動ボランティアニュースでは、「地域の課題」の記事の他に、『三重でのフューチャーセンターの試み』の特集や、『県内各地の市民活動支援センターの紹介』の特集も組んできました。そして、今回の『地域の情報』の特集も同じで、これらを通じて、さまざまな動きを知る方法のひとつとしていただければという想いでいます。

本年度に、これからみえ市民活動ボランティアニュースでとりあげるテーマは、大枠でこんな感じでした。『地域安全』『災害救助』『NPO活動の啓発』『環境保全』『子どもの健全育成』『男女共同参画』『多文化共生』『観光の振興』『雇用能力』『雇用機会』『農村漁村中山間地域』『保健医療福祉』。

私どもは、これからも身近な地域の課題をとりあげていく予定です。その中から、これらの課題の解決に関わる地域の人たちのすごさを感じ、地域の未来も見えてくるといいと思っています。そして「自分たちの未来をどうつくっていくか」について、多くの皆さんが考え、関わっていく材料を提供していこうと思っています。

(服部)

三重ぐるり MIEGURURI

「三重ぐるり」のコーナーでは、毎月テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月のテーマは【地域の情報誌】。各地域の情報を紙媒体や電子媒体などで発信している団体を県内の市民活動センターから紹介していただきました。

株式会社 愛晃社 KuwanaviMy ミュ

情報提供：みえきた市民活動センター

桑名市大中央48番地の5 ☎ 0594 (25) 2121 FAX 0594 (23) 5474 ✉ aitem@aikosha.co.jp



桑名市・東員町とその周辺地域のご家庭にポストイングされる他、個人商店や公共施設、大型商業施設にも設置させていただき、無料配布されています。創刊から5年余り、スポンサーの広告料で支えられている「ミュ」は、採算の面ではまだまだ厳しい状況が続いていますが、地域の皆様から、「すっかり定着してきたね」と、お声をかけていただく機会が増え、微力ながら、お役にたっていることを実感しています。今回、地域に興味を持つきっかけとして活用されていると認めていただけたことは、制作・営業・ポストイングスタッフおのおのに大きな自信を与えていただきました。

フリーペーパー
県内 32カ所に設置

地域に根を張った題材を幅広く扱うことで、どなたでも、親近感と共感をもって楽しく読んでいただける紙面作りを心がけています。発行も68回を数え、これも多くの方々のご支援の賜と感謝の思いでいっぱいです。今後も、取材に協力して下さる方々の大切な思いを正確にお伝えすることに徹していきたいと思っています。

メディアネット四日市

情報提供：NPO 法人四日市 NPO 協会

四日市市萱生町 1200 四日市大学 4 号館 7F 709 室 ☎ & FAX 059-329-6020
✉ medianet@aurora.ocn.ne.jp URL <http://yokkaichi.tv/>



メディアネット四日市は、「市民が市民の目線で捉えたさまざまな情報」を、「映像」で捉え、多くの市民が共有できるようインターネットを通じて発信するユニークな市民団体です。「映像」は市民の活動をわかりやすく伝えることができ、誰でも撮影にも参加できるメディアです。これまで地域のCATV等で独自の番組を持ち、市民による市民のための映像ポータルサイト・よっかいち映像広場を運営したりしています。

WEB サイト
よっかいち映像広場
<http://yokkaichi.tv/>

「よっかいち映像広場」は、四日市市内で行われるさまざまな市民活動を、メディアネット四日市のスタッフがごまめに現場に出かけて撮影し、「イベント」「自治会」「子育て」「高齢者」「社会福祉」「文化」「自然」「政治経済」など、細かに分類して公開したサイトです。市民は、四日市の市民活動を映像で知ることができます。また、誰でも YouTube 等で市民活動を撮影し、投稿することができる参加型のしくみになっています。

鈴鹿マガジン編集室（有限会社三鈴印刷内）

情報提供：鈴鹿 NPO サポートセンター

☎ 059-373-5031 ✉ info@suzumaga.jp URL <http://suzumaga.jp/>



「めっちゃ鈴鹿な地域情報誌・鈴鹿マガジン」は、地元FM局が発行していたスズカヴォイスMマガジンを創刊時より編集・印刷していた有限会社三鈴印刷が2015年4月号より引き継ぎ、リニューアル創刊したものです。リニューアルにあたり地元地域活性化のために情報誌としてできることを実行していくことが重要と考えました。継続的に発行していくには広告収入は必須となりますが、地元の人に地元のお店を使っていただくことで地元経済活性化にもつながります。また収入からコストを除いた費用でなるべく記事にページを割いています。鈴鹿市は大手企業の工場も多く、他県から移り住んで来た若い方々にも地元の祭り、イベント、サークル、市民活動にも積極的に参加していただくため、団体紹介やイベント情報なども掲載しています。「人と地域をつなげること」、それこそが地域情報誌としての役割であると考えています。

フリーペーパー
毎月26日発行
発行部数 70,000 部
市域にポストイング、
市内コンビニ、主要駅設置

当誌ではより地域密着した情報発信を行うため、地元のさまざまな団体（文化振興事業団、観光協会、体育協会、商工会議所青年部、青年会議所、すずかのぶどう、こどもサポート鈴鹿など）に「鈴マガ文化審議会」としてご参加いただき、各団体のイベントや告知情報などを掲載する他、紙面作りに関してご意見をいただいています。

15emit プロジェクト

情報提供：いせ市民活動センター

✉ contact@15emit.net URL <http://www.15emit.net/>



「新聞やテレビなど既存メディアが拾えないような小さな出来事やニュース、おもしろ情報をもっと気軽にみんなと共有できる媒体があったらいいな」「じゃあ自分たちで作ってしまおう」と始まったのが15emit(イチゴエミット)です。伊勢にもあまり知られていないだけで、さまざまなおもしろい活動をされている団体や個人も多く、イベントやお店もたくさんあります。自分たちの住む町のことをもっともっと知りたいし知ってほしいと思い活動しています。

WEB サイト

15emit

<http://www.15emit.net/>

伊勢を発信するWEBマガジンというコンセプトで伊勢に関するさまざまな情報を3年間限定で発信しています。「イセノコト、ニッポンノコト、セカイノコト、オモシロイコト」とサブタイトルで謳っているように、伊勢以外にも県内、国内、世界、と広くさまざまなジャンルのニュースや情報など【伊勢から発信】しています。運営開始からこの7月で1年ですが、6人で始めたプロジェクトが現在では20名を超える個性豊かな仲間が増え、根強い人気のあるローカルグルメ情報から、町のイベント情報、伊勢周辺でできるアトラクションの体験記やご当地風景印象集めなど、伊勢ならではのマニアックなネタは勿論のこと、Youtubeのオモシロ動画や、ディズニーネタなど、たくさんの方に楽しんで頂ける内容となっていると思います。現在も新企画がたくさん準備中なので、残り2年、できる限りのことに我々メンバーも挑戦していきたいと思います。15emitをよろしくお願いします。

松阪ぎゅうっと福祉メディア局

情報提供：松阪市市民活動センター

✉ mairun55@gmail.com



障がい者、高齢者の生活をより豊かに楽しくすることを目的に、訪問美容を通じて福祉の現場に携わるメンバーが中心となって活動しています。近年はインターネットでの情報収集が主流ですが、実際に介護に関わる人はパソコンなどを使えない人も多く、介護保険対象外の訪問美容や配食サービスなどについては、自身での情報収集が難しい現状があります。そうした現場に必要な情報を届けるために、主に紙媒体による情報発信に力を入れています。

フリーペーパー (情報誌)

地域密着型の福祉情報誌「まつさかいご」を発行しています。各地のケアマネジャーや元気な高齢者などの紹介、さまざまな介護サービスの密着取材などを掲載しています。介護に対して明るいイメージを持ってもらえるよう、楽しみながら知識を得られること、誰にでもわかりやすく伝えることを大切にしています。発行は年2回程度(不定期)、松阪近郊の介護施設などに配布予定です。興味のある方にはお送りしますのでお問い合わせください。

KUMANO JOURNAL

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

熊野市須野町13 ☎ 0597-70-4068 ✉ kumano-furusato@live.jp



「奥熊野」の魅力伝える季刊のフリーペーパーです。寄稿者の洗練された写真や文章、イラストからなる同誌は読み物としても面白く、奥熊野の世界観が視覚的に表現されています。また、2010年からスタートして以来、人づてで広く全国に設置されるようになり、現在は毎月5000部以上発行する人気冊子となっています。次号発行分をもって、しばらくの間紙面での発行が休止になりますが、Webサイト上で情報発信が続けられるほか、KUMANO JOURNAL バックナンバーのアーカイブを見ることができます。

フリーペーパー

県内90カ所、
県外80カ所に設置

WEB サイト

KUMANO JOURNAL
<http://kumanojournal.jimdo.com/>

イラストマップに落としたりトレッキングコース図や、アウトドアスポット・観光名所などの情報を掲載しているほか、奥熊野に住む人の暮らしの風景、地域での取り組みなどにも焦点を当てた内容を掲載しています。また、KUMANO JOURNALはおよそ8ページからなるフリーペーパーで、「そこに住んでいる人も住んでいない人も、奥熊野を歩いてほしい」という気持ちに共感したメンバーそれぞれが、知られざる奥熊野の魅力を発信して記事が構成されています。

募集とご案内

人権のまちづくりのスタートアップ、応援します！
～「身近なことから考える人権」を一緒に！～

「人権について学びたい」と考えている地域の研修などに講師やアドバイザーを派遣します。

*研修内容はご要望に応じます。
*講師、アドバイザーの派遣にかかる費用は県が負担しますが、研修会の会場の費用や準備は申し込みされる方をお願いします。

テーマ(例)

「地域防災活動と人権」、「子どもの人権」、「高齢者の人権」、「人権ってなんだろう～人権の基本を学ぶ」、「ユニバーサル就労と人権」「高齢化が進む地域での自治会活動」「『障害者差別解消法』について学ぶ」「住民同士が支えあう絆づくりのヒント」「貧困と人権」、「患者の人権」、「新聞記事から人権を考えよう」など

対象 まちづくりの協議会や自治会、PTA、NPO、企業などの団体等、人権のまちづくりを進めようとする県民なら、どなたでも利用できます。

応募方法 電子メールに①担当していただく方のお名前、②ご連絡先(電話番号やメールアドレス)、③希望の研修内容、④希望日を記入し、県人権課(jinken@pref.mie.jp)までお申し込みください。お電話でも結構です。

問合せ先 三重県環境生活部 人権課(櫛田)
TEL: 059-224-2278 FAX: 059-224-3069

✉ jinken@pref.mie.jp

委託先 NPO 法人市民社会研究所

辺野古現地からの報告

<命の海と平和を守る!>

「介護」の仕事の傍ら、辺野古の海を守るために、「平和丸」という船の船長として活躍しておられる女性・相馬由里さんの現地最新報告をお聴きします。

日時 平成27年6月13日(土) 13:30～16:00

場所 みえ県民交流センター イベント情報コーナー

参加費 無料(カンパ要請あり)

主催 フォトジャーナリズム展三重事務局(眞弓)

問合せ先 TEL: 090-5100-5448 FAX: 059-229-3078

✉ photojournalism_mie@yahoo.co.jp

フリーマーケット in 四日市ドーム VOL. 49

ブース数も来場者数も三重県最大級!

フリマの他にもイベントブース、企業ブース、飲食ブースなどあり1日楽しめます!ハンドメイド+雑貨マーケット、四日市ドームフリマライブ、全国うまいもん市と物産展、飲食ブース、2F特設ブースではココロとカラダのデトックスコーナーを設置します!

日時 平成27年6月14日(日) 10:00～16:00

※屋内のため雨天決行

場所 四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)

入場料 当日券600円・前売り券400円
(小学生以下は無料。前売り券は東海地区の主要コンビニエンスストアなどで発売)

問合せ先 特定非営利活動法人MFA
TEL: 059-320-0133 FAX: 059-320-0134

✉ webmaster@mfa.gr.jp

HP <http://www.mfa.gr.jp/>

宇宙生命は存在するか? ～天文学からのアプローチ～

地球以外に生命は果たして存在するのでしょうか? 科学者のみならず、一般の人にも興味のある、この問いの答えはもうすぐ得られるかも。現在、天文学や惑星科学の側面から、いくつかの努力が続けられています。今回は、天文学からどのようなアプローチがなされ、どこまでわかってきたか、そして今後の見通しについて紹介します。

日時 平成27年7月4日(土)
13:30～15:00(開場12:45)

講師 渡辺潤一氏
(自然科学研究機構国立天文台 副台長・教授)
コーディネーター: 浅田英夫氏
(あさだ考房 天文研究課)
天文写真展示: 谷川正夫氏(天文カメラマン)

場所 三重県文化会館 中ホール

受講料 無料(事前申込制、先着順)

問合せ先 三重県生涯学習センター
(〒514-0061 津市一身田上津部田1234)
TEL: 059-233-1151 FAX: 059-233-1155

✉ manabi-kouza@center-mie.or.jp

HP <http://www.center-mie.or.jp/manabi/>

流木アート

私たちに多くの恵みを与え、美しい景観で迎えてくれる伊勢湾ですが、沿岸では海岸漂着物によるさまざまな問題が起きています。実際に海岸において海岸清掃をします。海辺でおきている問題をじかに体感してみると、また違った視点に立てるかもしれません。そして、流木アートを作成しながら自分にできることを考えてみませんか?

日時 平成27年7月4日(土) 13:00～16:30

会場・集合場所 安楽島公民館(鳥羽市安楽島844-4)

講師 水谷伸子(鳥羽まちなみ水族館実行委員会)

対象 18歳以上の方

募集人数 25名(応募多数の場合は抽選。その場合は三重県在住の方優先)

材料費 ひとり300円 ※作品に使う額縁代ほか

持ち物 軍手・レインコート(海岸での活動は小雨決行)

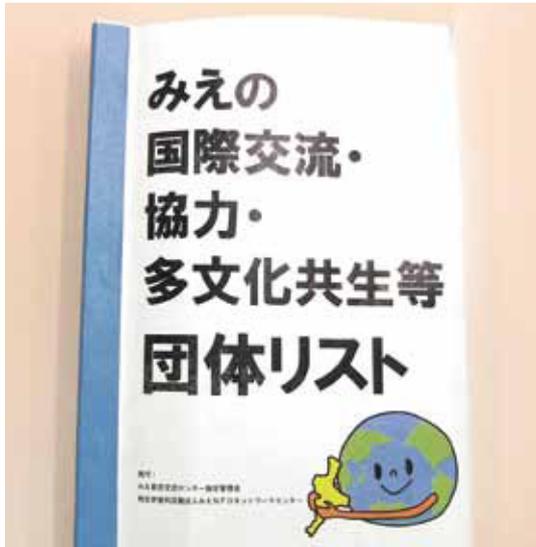
申込締切 平成27年6月5日(金)

申込方法 郵便・FAX・Eメールのいずれかで、講座の名称「流木アート」を明記の上、氏名・郵便番号・住所・電話番号・FAX番号を下記までご連絡ください。

問合せ先 〒512-1211 四日市市桜町3684-11
三重県環境学習情報センター
TEL: 059-329-2000 FAX: 059-329-2909

✉ info@eco-mie.com

「みえの国際交流・協力・多文化共生等 団体リスト」更新中



昨年度発行しました「みえの国際交流・協力・多文化共生等団体リスト」ですが、現在掲載団体情報の更新を行っております。

また新たに掲載予定の団体さんもいらっしゃいますので、お楽しみに！

※発行は2015年9月頃を予定しております

「ネパール大地震」募金箱を 設置しました

ネパールでマグニチュード7.8の地震が発生し現地で甚大な被害がでています。

少しでも被災地支援になればと思い、アスト津3階交流スペースに募金箱を設置いたしました。お寄せいただいた寄付金は、被災地の支援を行っている「特定非営利活動法人ADRA Japan (アドラ・ジャパン)」へ救援活動支援金として寄付させていただきます。

1日も早い復興をお祈りしております。

「NPO会計相談会」開催しました



昨年度実施した「NPO会計サポーター養成講座」受講生を相談員に、伊賀市、津市、伊勢市で会計相談会を行いました。今回はNPO法人設立3年未満の団体を対象にしていたので、決算書の作成方法、会計の基礎などをアドバイスいただきました。相談員の皆さま、ありがとうございました。

毎月鈴鹿市で交流会を行っています



現在「NPO法人市民ネットワークすずかのぶどう」さんが毎月行っている、市内の団体を対象とした交流会の企画やファシリテーターを行っています。団体にもその地域性があり、毎回新鮮な気持ちをいただいております。鈴鹿市内の団体さんは、ぜひ交流会に参加してみてください。

問い合わせ：NPO法人 市民ネットワークすずかのぶどう

TEL / FAX : 059-387-0767

Email : budou@mecha.ne.jp

みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保で融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重県の新名物

伊勢おやき本舗

年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店



イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市諏訪栄町3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21www@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

三重ボランティア基金 「ボランティア団体基盤強化助成」

- ① 6月19日(金) 必着 ② 津市ボランティアセンターに登録されている福祉活動を目的とするボランティア団体
- ③ 1団体 20万円以内

中小企業庁 平成 27 年度 地域商業自立促進事業の募集

- ① 6月29日(月) 17:00 必着 ② 商店街組織と民間事業者(まちづくり会社、NPO 法人等)
- ③ A. 自立促進調査分析事業:100万円~500万円 B. 自立促進支援事業:100万円~5億円(補助率2/3以内)

日本財団 2015 年度あなたのまちの海の日サポートプログラム

- ① 6月30日(火) 17:00 ② 独自性のある「海の日」の取り組みを実施する社団・財団法人、NPO 法人、ボランティア団体等
- ③ 総事業費の80%以内

明治安田生命保険 「地域支え合い活動 助成プログラム」

- ① 6月30日(火) 必着 ② 市民参加型を基本としたボランティア団体・NPO 等が取り組み配食サービス、生活助け合い活動など
- ③ A. 活動立ち上げ資金の助成:1件の上限15万円 B. 備品購入資金の助成:1件の上限30万円(総額150万円)

朝日新聞文化財団 文化財保護活動への助成

- ① 6月1日(月)~6月30日(火) 必着
- ② 美術・工芸品等の文化財および史跡・考古資料等歴史遺産の保存・修復・公開活用に取り組む非営利法人、任意団体
- ③ 1件あたり数10万円~数100万円

生活協同組合コープみえ 2015 年度 環境活動寄付先募集

- ① 6月1日(月)~6月30日(火) 必着
- ② 三重県内を活動エリアとする環境団体および三重県内の学校関係と保育園
- ③ 3万円~10万円(総額50万円)

ヨネックススポーツ振興財団 平成 27 年度助成金募集

- ① 6月30日(火) 当日消印有効 ② スポーツ振興を主たる目的とする社団・財団法人、NPO 法人等
- ③ 事業予算の1/2で概ね100万円以内

スタッフルール

初めまして。この度スタッフの仲間入りをさせて頂きました伊達です。基だ微力ながら「皆様のお役に立てる日が来るといいな」と願いつつ、今は日々、記憶力の衰えを隠せなくなった自分のぐたらアタマにムチを入れ、業務をゼロから学んでおります。

話は変わりますが、この度、多くの方が被害に遭われた「ネパール大地震」。あらためて自然災害の恐怖を感じました。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

「平穏な日常が崩れたとき」への備えという意味で考えますと、日ごろの近所づきあいが、ゴミ出しの時の挨拶ぐらいしか言葉を交わした事のない私としては「ご近所との会話が無いな」と考えさせられました。「もしものために」という気持ちで、一度ご近所の方に話しかけてみようと思います。何かしら住み心地が良い方向へ変わっていくかも知れません。

(伊達)



特定非営利活動法人

(2015年4月10日~2015年5月9日認定分)

①法人名②主たる事務所の所在地③活動分野
④認証年月日⑤代表者

- ① NPO法人 七里御浜FC
- ② 熊野市久生屋町 810 番地 18
- ③ 学術、子ども
- ④ 2015年4月14日
- ⑤ 理事長 西 益史

- ① 特定非営利活動法人 愛々
- ② 伊勢市小俣町元町 609 番地 3
- ③ 保健、社会教育
- ④ 2015年4月14日
- ⑤ 理事長 永野 悦子

- ① NPO法人 well
- ② 志摩市阿児町甲賀 825 番地 136
- ③ 保健、職業能力、障がい者の自立と共生社会
- ④ 2015年4月14日
- ⑤ 理事長 西井 正幸

- ① NPO法人 デザART
- ② 津市津興 104 番地 3
- ③ 保健、社会教育、まちづくり、農山漁村・中山間地域、学術、子ども、その他
- ④ 2015年4月17日
- ⑤ 理事長 鈴木 明美

- ① 特定非営利活動法人 Navis
- ② 松阪市木の郷町 21 番地 松阪木材株式会社内
- ③ 社会教育、まちづくり、農山漁村・中山間地域、環境、災害、子ども、経済活動、職業能力、その他、地域防災活動
- ④ 2015年4月20日
- ⑤ 理事長 小沢 和美

- ① 特定非営利活動法人 みんなDeうきうき歌謡団
- ② 鈴鹿市野町西 3 丁目 2 番 3 号
- ③ 保健、社会教育、学術、子ども、障がい者の自立と共生社会
- ④ 2015年4月20日
- ⑤ 理事長 笠井 真由美

- ① 特定非営利活動法人 ユニバーサル就労センター
- ② 四日市市諏訪栄町 3 番 4 号
- ③ 保健、人権、職業能力、その他、障がい者の自立と共生社会
- ④ 2015年5月7日
- ⑤ 代表理事 金 憲裕



転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

READER はこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのびだう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

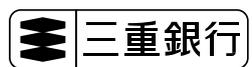
【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JAバンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局(南勢志摩、紀北、紀南)/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フロンテみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



環境にやさしい植物油インキを使用しています。